

24期 振り返り

現状認識

<成 果>

1. 企業の元気づくり
  - ①中小企業・小規模企業の挑戦支援
    - ・コロナ禍における補助金申請支援や事業承継の支援実施 補助金・事業承継支援:1,593件
  - ②人材の確保・育成
    - ・UIターン就職寄り添い相談を中心とした人材確保支援 相談対応:874名(内定者数:527名)
2. 都市力づくり
  - ①積極的な政策提言
    - ・国道1号浜松バイパス道路整備促進要望 新規事業化(長鶴～中田島)が決定
  - ②新たな成長市場に向けての産業基盤強化
    - ・新産業創出会議を中心としたロボット導入支援 支援件数:30件
3. 強い基盤づくり
  - ①組織基盤の確立
    - ・会員増強による会員数維持 2021年度会員数:13,334 (前年比+66件) 7年ぶり増加
  - ②会員向けサービスの充実
    - ・会員向けコロナワクチン接種による事業継続支援 約44,000人へ接種実施

<課 題>

1. 企業の元気づくり
  - ①中小企業・小規模企業の挑戦支援
    - ・企業の補助金や支援機関への依存が目立つ
    - ・小規模事業者のIT化、デジタル化が遅れている
2. 都市力づくり
  - ①新たな成長市場に向けての産業基盤強化
    - ・EV、脱炭素に対応した産業基盤の再構築が進んでいない
  - ②中心市街地の活性化
    - ・コロナ禍のため十分にぎわいの創出が出来なかった
3. 強い基盤づくり
  - ①組織基盤の確立
    - ・商工会議所事業に対し、会員の参画意識が希薄である
  - ②組織運営基盤の整備
    - ・デジタル化による事務作業の生産性向上が進んでいない

<社会・雇用情勢>

①ウィズ・アフターコロナにおける新しい生活様式 ②SDGsなど新しい価値観/ライフスタイルの浸透 ③温暖化・大規模災害の頻発 ④労働力人口の減少・高齢化進展による人手不足

<経済>

①原材料、資材、エネルギーの高騰 ②脱炭素・EVシフト ③世界経済の停滞 ④新しい経営を迫られる中小企業

<産業>

①多様化・専門化する経営課題 ②深刻な後継者不足 ③DX化・デジタル化の遅れ ④働き方改革

25期 中期行動計画

企業の元気づくり (企業支援)

都市力づくり (地域振興)

1 ウィズ・アフターコロナにおける 中小・小規模企業の挑戦支援

- 激変するビジネス環境のもと、**短期的な課題解決の支援に留まらない、潜在化された課題の抽出**と積極的支援
- 「第2期経営発達支援計画」に基づく、経営支援員による事業計画策定、新事業展開、経営革新、事業承継等の伴走型支援
- 「事業継続力強化支援計画」に基づく、BCP(事業継続計画)の啓蒙と策定支援

2 DX化の推進

- 生産性や競争力向上に向けた**デジタル技術実装支援**
- 事業計画策定WEB支援ツールの作成による補助金申請支援
- DX活用方法の研究・導入支援、サイバーセキュリティ対策支援

3 カーボンニュートラルの推進

- 専門家派遣、相談窓口の紹介、成功事例の紹介等による企業の取り組み支援**
- カーボンニュートラル実現に向けた行政等の施策の情報提供

4 地域の魅力発信による人材の確保・育成

- 「**就職寄り添い相談**」によるUIターンを含めた採用活動支援
- 行政や他機関と連携した浜松の魅力伝達と移住支援
- 高度外国人材の採用促進に向けた啓発活動

1 地域・広域連携による積極的な政策提言

- 行政施策や社会基盤整備など、地域の重要課題の研究、効果的・効率的な実現可能な提言(三遠南信自動車道・新野球場建設等)

2 地域産業の環境対応と新産業創出

- 脱炭素社会・SDGSに対応した企業群、GX(グリーントランスフォーメーション)関連、宇宙航空・医工・ロボット関連産業の育成、連携により新産業創出を図る**
- 急速に進展するEVシフト、CASE化、サプライチェーン基盤強化、環境対応など地域の課題を、行政、浜松地域イノベーション推進機構(次世代自動車センター)と連携して対応する

3 中心市街地活性化と観光振興

- 2023年大河ドラマ「どうする家康」、2024年花博20周年記念事業を通じて、浜松・浜名湖ツーリズムビューロー等と連携して当地域への誘客を図り、当地域の各種パワーフードを活用してリピート客を創る**
- 特色ある個店のにぎわい創りを、浜松まちなかにぎわい協議会等と連携して支援し、まちなか全体のにぎわい創出を図る

4 防災・感染症への対応

- 災害時対応と早期地域再生(被害状況の的確な把握等)
- 県内商工会議所間における広域での防災対策強化
- 今後の感染症に対する柔軟な対応

強い基盤づくり (組織強化)

1 会員参画意識の醸成

- 柔軟な対応が可能な目的別グループ創設により会員参画意識を高める**
- 市民への商工会議所活動の可視化
- 組織率NO.1の維持を図るための会員増強の推進

2 会員向けサービスの拡充

- 共済制度と労働保険事務組合の魅力UP**
- 会報誌・ホームページ・SNS等さまざまな媒体での情報発信強化
- 会員交流事業、人材育成事業の推進強化

3 組織運営基盤の整備

- 多様化する社会に対応する人材の育成
- 事務作業の生産性向上(省力化・合理化)の推進
- 事業別損益による適正利益の確保
- 職員の意識改革・資質向上、コンプライアンス遵守
- 会議所会館(30年経過)の営繕管理・保守